

# 日々 往来



大山 陽久

昨年来、自動車道開通や航空便増便などが相次ぎ、鳥取の交通利便性は急速に向上してきた。鳥取への観光客誘致にも力が入り、歓迎ムード一色である。

ただよく考えてみると、交通の利便性向上とは、人や物の行き来する

## 交通の利便性向上のもたらすもの

コストが低下するに過ぎない。鳥取に来るのも便  
利になるが、鳥取から出  
かけるのも便利になる。  
消費者の選択肢は増える  
が、企業はこれまで以上  
に厳しい競争にさらされ  
ることとなる。

鳥取に来る観光客は増  
えるかもしれないが、県  
民が県外に出かけて買い  
物する傾向が強まれば小  
売業にはマイナスであ  
る。また、物流コスト低  
下の結果、県外企業によ  
る販売攻勢が強まれば、  
県内企業はこれまでの販  
売利を確保できなくな  
るかもしれない。

別の形で競争の激化を引  
き起こす。  
この競争を勝ち抜くに  
は、まずは鳥取が本当に  
比較優位にある商品・サ  
ービスおよび産業は何か  
を、日本・世界全体のト  
レンドの中で的確に見定  
め、それを軸にして産業  
振興を図っていくことが  
重要である。ただ、全国  
各地どこも似たような状  
況にあって、それぞれ工  
夫を凝らしており、この  
戦略づくりは容易ではな  
い。

いずれにせよ、まずは、  
鳥取の人の視点ではな  
く、県外の人あるいは外  
国人の視点で、鳥取の魅  
力を考えてみることで出  
発点となろう。

前回コラムでは、物価  
が上昇していく世界と  
は、結果的に競争が激化  
する世界と説明した。交  
通の利便性向上も、また  
(日本銀行鳥取事務所  
長)